

光市医師会報

No 179

I love 光



鬼彦兵衛ゆかりの熊野神社



山口県無形民俗文化剤
の島田人形浄瑠璃芝居
熊野神社への奉納



鬼彦兵衛の墓
今までどれだけ子供
の夢をはぐくんでき
たことか？

昭和62年9月発行
光市医師会

医師会月間行事

昭和62年8月度理事会

8月11日(火) PM7:30~

於 光医師会館

議題

- 1: 郡市医師会長
地域医療計画担当 } 合同協議会の報告
(福本副会長)
- 2: 今年度の健康診査実施について
(福本副会長)
- 3: 県医師会百周年記念式典出席について
(福本副会長)
- 4: 学校医研修会
学校保健研修会 } についての一提案
(福本副会長)
- 5: 郡市医産業保健担当理事協議会の報告
(丸岩 理事)
- 6: 永年勤続表彰について (藤原 理事)
- 7: 事務職員の盆休みについて
- 8: その他

昭和62年9月度月例会・研修会

8月25日(火) PM7:30~

於 光市医師会館

研修会

ビデオ「開業医に必要なエイズの知識」
90分

月例会 (報告事項・協議事項)

- ビデオ研修終了後
- 1: 郡市医師会長
地域医療計画担当 } 合同協議会の報告
 - 2: 今年度健康診査実施について
(以上 福本副会長)
 - 3: 郡市医産業保健担当理事協議会の報告
(丸岩 理事)
 - 4: 永年勤続表彰について (藤原 理事)
 - 5: その他



うちかたの先生

富恵外科医院 とみえ さとし院長編

富恵哲氏(満59才)を紹介させていただきます。最近、口癖の様に、「日本語を知らんのか!」「最近の子供は、首を縦・横に振るだけで、言葉に出して喋らない。」と患者さんの親の前で平気で言われます。そんな言葉を耳にするたびに、私達は、そうだなあ—と思って自分や自分の子供といつものまにか比較しているのです。

先生は、いつも私達看護婦に「勉強しろノ勉強しろノ」と言われます。診察が、暇な時は、読書、読書の毎日です。そんな先生を私達は、尊敬の眼差しで、いつも見えています。

先生が、私達以上???に可愛いがっていらっしゃる愛犬まりくん(コリー犬)毎朝、鯉の餌やりとまりくんの散歩。いつもまりくんと鯉に話しかけられ、私達に「おはよう」と挨拶されたのだと思ったらまりくんに・・・なーんてことも。

今は、お嬢様も結婚され、早くお孫さんの顔が見たいのでは、ないでしょうか。いつだったかお嬢様の結婚式のビデオを見せていただきましたが、見られるたびに、先生は、涙、涙の連続でした。

いつもいつも患者さん第一で漁師さんなんかこられると、釣りの話で花がさきます。ときどき患者さんと船で釣りに行かれます。仕事となると真陰で厳しい先生も、仕事外となると冗談もちらほらと・・・。

これからもお身体に気をつけてあまり無理をなさいません様に。それと喘息の発作も出ません様にみんなでお祈りして終わりにしたいと思います。

先生、いろいろと書きましたが、お許し下さいませ。 終わり



光市医師会懇親旅行 (藤原邦彦先生)

会員の老令化(?)が著しくなり、従来の体育大会の形式では、腰痛・筋肉痛・息切れ等々の続出で、あとの診療が不可能になることが懸念される為、今年は目先を変えての会員の親睦となる行為が要求されました。

その中で鶺鴒見物の話が出され、理事会で決定されたのが8月9日(日)に宮島遊覧ののち鶺鴒を見物しようということであった。当初、幹事としては暑いだろうという位の気しかなかったのだが、予定日の2~3日前から過去の忌わしい記憶が頭をもたげて来た。それは緑友会のお世話をさせて戴いた1年の間、ゴルフ大会の度に雨、雪と碌なことが無かったことである。果たして雨はふり続き、8月8日の夜、予定日の朝も自棄に降り、大雨、雷雨等々の注意報が発令されている。岩国の鶺鴒振興会(0827-41-0470)に電話すると、以外や“注意報なんてものは気象庁はすぐ出すんですから心配はいりません、鶺鴒は充分やれます。ということである。竹中会長と連絡を取り、半分自棄で決行することにした。するとその後から雨はあがり、快適な旅行日和となったことは参加された皆様の日頃の精進の賜物であったと思われます。

参加者は17医療機関、会員8人を含めて99人でした。2台のバスに分乗して1号車は竹中会長、2号車は福本副会長に乗って戴きました。1号車はAM10:40室積駅発、2号車はAM10:50車庫前発で新日鉄前に集合してAM11:00に出発、トイレ休憩をはさん

でPM1:00に宮島口到着、フェリーにて宮島に全員渡りました。PM4:00に宮島港に集合の約束をして、自由行動としました。



弁当を持って来ている方は鳥居屋の2階に案内され昼食をとりました(3組でしたが)各自昼食、観光されたとみえ、宮島駅では土産の袋が増え、全ての方が賑んでみえました。

私も小学生以来の宮島でしたから、赤い大鳥居以外は記憶になく、平清盛の造営した厳島神社を堪能しました。平家にあらずんば人にあらずの時代に清盛の心証を良くする為に京都からわざわざこの神社に詣でた貴族が大臣の官位を得たと何かで読んだ記憶がありますが、何時の時代にも我が身の栄達の為には誰も知恵を絞り苦勞をするものです。

宮島口より錦帯橋傍の駐車場にはすぐ着きましたが、時間の余裕もあり参加者一同で写真をとりました。錦帯橋の周囲を少し



散策した後、PM6:30頃船に乗り込みました。25人乗り2艘、15人乗り4艘に分乗し、弁当、飲み物でしばらく川の中央で水面の風に涼を得てすごしました。辺りが暗くなる頃になり、1艘の鶺鴒舟に鶺鴒匠を先頭に2人の櫓漕ぎが乗り、計3艘で繰り出しまし



た。篝火、鶺鴒の鳴き声、鶺鴒を潜らせる為の舟端を叩く櫓の音、川の流れ、暗闇が相俟て独特の世界を作り出します。途中で船頭さんが過って川の中に落ち、「船頭も船から落ちる」と言う諺があったかなあと思いつながら見ていると、ずぶ濡れになって船に這い上っていました。PM9:00になって鶺鴒も終りバスに乗ると振興会の会長さんが乗ってこられて、手縄(たなわ)の説明をされたことがとても印象に残りました。

帰りのバスは会長、副会長を始めとして、会員の先生方(特にY先生T先生)が雰囲気盛り上げて戴き、又参加者の皆様の御協力でも事故もなく楽しい一日となりました。ここに感謝の気持ちを込めて、冗長となった駄文を終わることにします。

MY HAPPY DAY

ナース 小志千鶴

8月9日、光医師会の旅行がありました。いつもは、朝寝坊な私ですが、今日は、朝早くから目が覚めました。小さい頃も、遠足とか、運動会という行事があると、いつも起こされないと起きない私なのに、みんなが眠っているうちから起き出し、空を、眺めて、天候を気にしていたものです。

今回の旅行では、前日の大雨がうその様にあがりちょうどよい天気、恵まれて楽しい一日となりました。日頃のおこないが、よかったためでしょうか。梅田病院からは十人参加させていただきました。みんなとてもうれしそうでした。私達は、二号車に乗りました。二号車には、福本先生がいらっやって、汗をふきふき、いろいろとお世話をして下さいました。いろいろな病院から、先生や看護婦さん、そして、家族の人が、たくさん参加していらっやいました。AM11:00、新日鉄前から、宮島口へと出発しました。宮島へ行くのは、小学校以来なので、とても懐かしく感じました。小学校の頃は、一つ一つ見る物がとても珍しく、すごくはしゃいだ覚えがあります。宮島口につき、フェリーにのりこみました。フェリーがだんだん宮島に近づくにつれて、大鳥居がはっきり見えてきました。

いつもは、波に洗われている大鳥居ですが今日は、その大きな足をすっきりあらわしていました。宮島港につきました。宮島では、先輩グループと若者グループとでわかれて、見物することにしました。私達、

若者グループは、はじめに食事することに決定!!。おなかもいっぱいになり、宮島見物にレッツゴースタート。……

まずは水族館のアイドル・ラッコちゃんのご対面です。水族館はあたかも神秘的な世界へと私達を迎えてくれました。始めてみる魚のなんと多いことでしょう。いった



い世界のどこにこんな生物が生きているんでしょうね。世の中にはまだまだ私が想像できないほど“不思議”があるんだなあつくづく思いました。

そしてアイドルのラッコくんとの対面ですTVで見たのとは大違いで実際はかなり大きくて、カワイイ!!という感じとはちょっと違いました。あっちフラフラこっちフラフラと見物している間に集合の時間が近くなっていることもしらず、ふと時計を見ると集合時間5分前!!手にもってあれやこれやと品定めしていた“みやげもの”をなげ出して港へまっしぐら。一人は子供をいだき一人は荷物をかかえハアハア息をきらしながらのランニング。なんと危機一発のセーフ!!。そして城下町の情緒を川面に

美しく写している錦帯橋に着きました。

そしていよいよ納涼船にのっての鵜飼見物です。ゆったりと流れる錦川、川面を渡る風も涼しく、食事（私にとって鵜飼よりもこちらが本命）をパクつきながらワイワイガヤガヤ。やがて腹もふとり【いや一杯になった頃】夕やみがせまる頃、鵜匠を先頭に2人の櫓漕ぎをしたがえた鵜飼舟が私達の舟のまわりをまわりながら鵜飼パフォーマンスの始りです。私達の拍手を意識したのでしょうか。この日の鵜のイキイキとしたステージマナーは格別でした。

仕事をしている時の一日はすごく長く感じるのに、今日の一日はなんと早く過ぎてしまったのでしょうか。やがて私達は帰りのバスにのりこみ光へ。久しぶりに童心に帰ってはしゃいだり、感激したり、少し疲れもあるけれどとても楽しい一日を過ごす事が出来ました。たった一日のことですが私の日記に小さな思い出を作って下さった、光医師会の先生方に一言“本当にありがとうございました。また次を楽しみにしています。”



BEAUTIFUL SUNDAY

写真提供 Dr 富恵



あ と が き

変な夏でした。しかし夏が去るのは毎年の事ながら、さびしい感じがします。

エイズに負けじとB型肝炎が実際問題以上(?)にマスコミで騒がれ、現場の我々の方がとまどっております。

キャリアの人でお見合いがうまくいったが相手に打明けられず困っている人が外来に2人おります。

あまりにもマスコミがショッキングに扱いすぎではないでしょうか。

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社